

問 救急病院の 救急車受け入れ実績は

答 東海病院は昨年度658件



新政とうかい
三上 おさむ 議員

問 救急車が現場に到着後、受け入れ医療機関が決定せず要救助者を乗せたまま、1時間以上現場に停滞する状況が散見されており、救急事業を圧迫している。村内の救急医療機関の救急車受け入れ実績はいかに。

答 令和6年度、村立東海病院は658件、茨城東病院は669件受け入れた。

問 村立東海病院は積極的に救急を受け入れるための体制を長期的な視点に立って整えるべきと考えるが、見解はいかに。

答 今後、医療や介護



現場で活動中の救急車

を要する85歳以上の人口が急増し、医療需要の変化が見込まれる。救急医療をカバーする圏域全体で救急医療を担う施設や人材などの医療資源の不足が見込まれる状況においても、救急医療が身近な地域の中で維持されることで優先課題と捉えている。村民の安心につながるよう、地域医療振興協会と協力し、他の病院との連携や役割分担の中で、村立東海病院の救急受け入れ体制を維持する。

問 児童生徒のキャリア教育の 取り組みは

答 発達段階に応じた自己指導能力を育成



公明党
うえ き 植木 議員

問 学校での生徒指導として、キャリア教育など児童生徒の発達を促す活動や自己実現に向けた取り組みをどう推進しているのか。

答 キャリア教育では、児童生徒自らが目標を設定し、達成に向けた主体的に行動を決定・実行する「自己指導能力」を高めることや、発達段階に応じた自分で考え、選び、責任を持つ経験を積み重ねる教育活動によって自己理解や自己管理を促す予防的・開発的な指導を重視している。

問 学校では、児童



キャリア教育を目的に小中学校が連携して開催したオープンスクールの様子

生徒一人一人が尊重され安全かつ安心して生活が送れるような風土を教職員の支援のもと、児童生徒自らがつくり上げていくことが大切である。生徒指導について、どう取り組むのか考えを伺う。

答 教職員は、児童生徒の複雑な心理や人間関係を的確に理解するとともに、観察力を持ち専門的・客観的理解に努めつつ、児童生徒、保護者との相互理解を大切にしていく。今後、児童生徒理解を第一に、誰一人取り残さない生徒指導を進める。